

## 宇治市乳幼児期の教育・保育のあり方検討委員会について

子どもの成長・発達という視点から乳幼児期は、その生涯にわたる人格形成の基礎を培い、生きる力を養う、極めて重要な時期です。

このことから、子ども自らがもつ力を伸ばすこと、またその力を引き出す環境を整え、集団とのかかわりや様々な体験を通じて、一人一人のもつ良さや可能性に働きかける乳幼児期の教育・保育を保障し、そこで培った育ちや学びを切れ目なく小学校教育につなげていくことが必要です。

そのためには、公立の幼稚園、保育所が宇治市にある多くの私立幼稚園、民間保育園、認定こども園と施設類型を越え連携・協働することも重要です。

また、少子高齢化が進行し、宇治市の就学前児童が減少していることや、家族構成の変化が進む中、子育てで悩み孤立する保護者の増加、発達障害等の特別な配慮を必要とする子どもや、医療的ケアを必要とする子どもたちへの対応、さらには、地域の実態や保護者の就労状況等に応じた子育て支援や幼児教育・保育の充実が求められるなど、今日的な課題への対応も必要です。

このようなことから、公立の幼稚園・保育所が家庭、地域をはじめ多くの就学前施設とも認識を共有し、社会全体で子どもの育ちを支えていくのか、またどのような役割を担っていくのかなど検討委員会において、ご検討を頂きたいと考えています。

## ○委員会の開催予定（案）

	開催時期	内 容
第1回	4月26日 14:30～	委員の委嘱、委員長・副委員長の選任 現状報告
第2回	5月（中旬）	乳幼児期の教育・保育のあり方について検討
第3回	5月（下旬）	乳幼児期の教育・保育のあり方について検討 意見書案の検討
第4回	6月（中旬）	乳幼児期の教育・保育のあり方について検討 意見書案の作成
	7～8月	パブリックコメントの実施
第5回	9月（上旬）	パブリックコメント結果報告 意見書の作成

○宇治市総合計画や子ども子育て支援事業計画、教育振興基本計画に則り、また、関連する他の計画とも整合を図りながら、乳幼児期の教育・保育の充実に取り組んでいます。

# 宇治市第6次総合計画

目指す都市像：一人ひとりが輝き 伝統と新たな息吹を紡ぐまち・宇治

